

2011年3月4日

## スバル レガシィ 「EyeSight(アイサイト)(ver.2)」搭載モデルが販売台数 1万台を達成 ～ 購入ユーザー調査の結果、「次もEyeSightにしたい」が 90.6% ～

富士重工業が昨年5月18日に発売した、先進運転支援システム「EyeSight(ver.2)」を搭載したスバル レガシィの販売台数が、2月末日時点で11,417台\*1となりました。この台数は同日から発売した新型レガシィシリーズ全体の57.9%となり、目標搭載率の30%を大きく上回りました。

「EyeSight(ver.2)」は、スバル独自のステレオカメラを用いた先進運転支援システムで、衝突の危険性が高いと判断した場合に自動ブレーキによって車両を減速させ、衝突を回避、あるいは衝突被害軽減を行う「プリクラッシュブレーキ」、設定速度から停止までの速度範囲で先行車両に対する追従走行を可能とし、渋滞時などの運転負担を軽減する「全車速追従機能付クルーズコントロール」などの運転支援機能により、快適なドライブの実現に寄与するものです\*2。

EyeSight 購入ユーザーを対象に行ったアンケート調査\*3では、EyeSight 全体の評価で96.1%のお客様から高い評価(「満足」「やや満足」)をいただいています。さらに次期購入意向では90.6%の方から「絶対にEyeSightにしたい」「できればEyeSightにしたい」と回答をいただいています。また、購入後のレガシィのイメージとして85.2%の方が「安全性が高い」、EyeSight 搭載車に乗っている気持ちとして83.8%の方が「事故被害を軽減してくれている安心感を得られている」と回答をいただいています。

運転負担を軽減する全車速追従機能付クルーズコントロールについては、91.1%のお客様から高い評価(「満足」「やや満足」)をいただき、「自動的に車間距離が調整されるので安心であり便利」「渋滞などで停止まで制御してくれるので便利」といった印象を持たれています。

\*1: 自社調べ

\*2: 道路状況および天候状態、車両状態等によって、性能が発揮できないことがあります

\*3: 自社調べ 全国のEyeSightユーザー235人を対象に調査。



スバル レガシィ ツーリングワゴン「2.5i EyeSight」